事務事業調書(通常評	価事業 事後	(評価)					
事務事業名	でまえ	上学び塾開催事	業				始年度 平月	成17年度
担当課	教育委	長員会 生涯学	智課		担当者	髙	野吉一	
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】			·	·		
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成			
総合計画体系	施策	01	健やかに人を	を育み生涯	にわたる学習	活動の推進		
	基本事		学ぶ機会の充					
事業の目的			基づいて、自分に			、生涯を通じ	て学習を行い	١,
争未の日的			した人生を送れる					
事業の概要	市民や	市職員等の講	師を集会所等に派	€遣する。 詞	講師料は無料、	材料費等は自	己負担となる	0 0
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度		6年	度	7年	 · 度
事業費の推移	実紀	漬/当初予算	実績		実		当初	
		総事業費	0		0			0
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)]					
	指標	+6-		単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	1日1	际位例	甲位	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	利用者数		人	2, 697	3, 730	3, 000	3, 000
					·	•	•	·
	評価	f ●達成、	概ね達成した ()多少は達	成した 〇達	成できず		
達成度の			受業や、社会更生				者の多様化や	拡大が見られ
評価と説明	説明		皆にとってはどこ					
	по	市民にと	っては自分の学ん	だ成果を活	用する場とし	て、生涯学習	の振興が図ら	れた。
見直し余地	判定		に見直し可能(地なし	
■将来方向性【	<u>改善(</u>	Action)			, ,		_ • -	
事業の方向性	〇見直	正し継続 ●明	現状どおり継続	〇廃止・	完了			
<u>資源方向性</u>	予算	算額 〇拡大			業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	

事務事業調書(通常評	·価事業 事後	評価)							
事務事業名	生涯学	智講座・大会	€開催事業					F成17年度		
担当課	教育委	長員会 生涯学	智課		担当者	大:	金加依			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】								
	政策	政策 03 文化薫る心豊かな人材の育成								
総合計画体系	施策	01	健やかに人を	を育み生涯	にわたる学習	活動の推進				
	基本事	第業 01	学ぶ機会の対	沒						
±** 0 □ 11	生涯学	習推進計画に	基づき、協働の観		自立できる地域	或リーダーの育	成。生涯学	習へ		
事業の目的			つながる場、市民					_		
—			一"の育成を目的					開催		
事業の概要			にふれる機会を提		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			17.3 [
■事業実施結果										
		年度	5年度		6年	- 度	7	/年度		
事業費の推移	実績	漬/当初予算	実績		実績		当初			
		総事業費	1, 069		1, 1	78	1	, 540		
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)]							
	指標	+15.4	亜 夕 	光上	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分		票名称	単位	実績	実績	計画	計画		
+に+並 ひ +4・14		十口上兴江《台	Ln =1x #L		0.4	0.7	Γ0	Γ0		
指標の推移	成果	市民大学延べ参	加有剱	人	94	27	50	50		
	成果	生涯学習振興大	今 本坦 ·	人	230	400	300	300		
	,,,,,,						300	300		
	評価			●多少は達		成できず				
達成度の		市民大学は	‡学校を会場とし	て、大人と	:子どもが一緒	iに学ぶ「みん	なの学校!」	を2会場で開		
評価と説明	説明	▍│催した。5	<mark></mark>	は、市内で	『活躍する若者	やボランティ	アと共に活動	動する地域の方		
		によるトー	-クセッションと	、教育評論	家尾木直樹氏	の講演会を実	施した。			
見直し余地	判定	≧ ○数年内	こ見直し可能 (⊃余地はあ	るがまだ時間	引が必要 ●糸	≷地なし			
	改善(Action)]								
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・						
資源方向性	予算	算額 〇拡大	、●現状 ○縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮	小 ————————————————————————————————————		

			評価)						
事務事業名	学社園	蛤促進事業				事業開	開始年度 平	成17年度	
担当課	教育委	長員会 生涯学	智課		担当者	i 髙	瀬亮		
■事業の執行計									
	政策	対策							
総合計画体系	施策	01			にわたる学習	活動の推進			
	基本事	3業 01	学ぶ機会の発	実					
事業の目的		でや中学校は、	地域(市民全体)	が支え地域	或(市民全体)	と共に歩むと	こいう意識が酢	譲成	
争未の日町	される								
事業の概要	学校・	家庭・地域が	一体で子どもを育	すてるため、	地域学校協働	動本部事業を推	推進する。ボラ	ラン	
			、教員が子どもと	<u>: 向き合う</u>	時間確保と地域	域教育力の向」	ニ等を図る。		
■事業実施結果	【実施	(Do)]							
		年度	5年度		6年	度		年度	
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実績		当初		
		総事業費	186		25	51	2	239	
■前年度の事業		評価 (Check)							
	指標	tie t	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	181	未 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	辛匹	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	 事業開催回数			528	778	550	550	
1日1示 リカー	从木	学术 所准四数		<u> </u>	320	770	330	000	
	成果	 地域学校協働活	動サポーター	人	444	436	500	500	
	774714						000	000	
	評句		既ね達成した (成できず			
達成度の			から全ての小中等						
評価と説明	説明		『した。さくら未	来塾では、	40名以上の学	!習支援サポー	ターが小中学	生の学習支援	
		を実施し <i>t</i>							
見直し余地	判员		こ見直し可能 (<u>) 余地はあ</u>	<u>るがまだ時間</u>	が必要 ● 分	<u> (地なし</u>		
	710	Action)]							
事業の方向性			状どおり継続	<u> 〇廃止・</u>					
資源方向性	予算	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	\	

事務事業調書(通常評	価事業 事後	評価)							
事務事業名	氏家公	民館講座事業				事業開	始年度 平月	成21年度		
担当課	教育委	員会 生涯学	智課		担当者	福	田崇男			
■事業の執行計	画【計				•	**				
	政策	03	文化薫る心豊							
総合計画体系	施策									
	基本事		学ぶ機会の充	E 実						
事業の目的	市民が	自発的に学習	するようになる。							
事業の概要	の両館	で実施する。	りを促進するため	た、公民的	馆講座を企画し	ノ、氏家公民館	宮と喜連川公民	:館		
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度		度		
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実績		当初			
		総事業費	966		94	18	1, 2	01		
■前年度の事業		評価(Check)								
	指標	指	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	181	未 但 你	平位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	活動	講座受講者数		人	1, 807	1, 829	1, 850	1, 880		
		講座実施後にお 立数	ける自主グループ設	団体	14	14	14			
	評価	i 〇達成、	既ね達成した	●多少は達	成した 〇達	成できず				
達成度の		講座内容	字の創意工夫によ	り、参加す	る市民がわず	かに増加した	0			
評価と説明	説明 自主グループは、新規認定は無かった。									
見直し余地	判定	2 ○数年内	こ見直し可能	全배(† #	スがまだ時間	が必要 〇名	<u></u> き地なし			
		Action)		- /\\ *E10\ (V)	のい。ひょこれ山田	17/20/54 07	(7E/A U			
事業の方向性	〇見直		見状どおり継続	〇廃止・	≑ 了					
資源方向性	予算				業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小			
ティル・ファンゴエ	17				ーー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	U JAZY				

事務事業名 青少年センター事業									
	開始年度 平	^z 成18年度							
担当課 教育委員会 生涯学習課 担当者 超過	⁶ 木真代								
■事業の執行計画【計画 (Plan) 】									
政策	策								
総合計画体系 施策 01 健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進	策 01 健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進								
基本事業 02 青少年の健全育成									
青小年が様々な休齢や交流を通して自分の良さを見つけることにより、青	少年を健全に	育成							
事業の目的する。									
理内に書小年もンターを設置し 書小年碑全育成事業を行う 運営協議会	委員、少年育	成サ							
事業の概要ポーター、少年指導員に報酬等を支給する。									
■事業実施結果【実施(Do)】									
年度 5年度 6年度	7	年度							
事業費の推移 実績/当初予算 実績 実績	1	当初							
総事業費 3,782 4,576		527							
■前年度の事業分析【評価 (Check) 】									
15年 6年 6年 6年 1 6年 1 6年 1 6年 1 6年 1 6年 1	7年度	8年度							
日本	計画	計画							
	700	700							
指標の推移 成果 青少年センター事業に参加した人数 人 723 722	700	700							
成果 少年育成サポーター数 人 23 23	0E	O.E.							
成果 少年育成サポーター数 人 23 23	25	25							
評価 ●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず									
達成度の 少年育成サポーターが体験活動班、ICT研究班、広報啓発班	、研修班を編成	戈し、体験活動							
評価と説明説明や研修会の開催、広報紙「夢咲楽~和輪話通信~」の発行、全									
動(小・中・高等学校)を行い、青少年健全育成の推進が図ら									
	余地なし								
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了									
資源方向性 予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大	●現状 〇縮/	١,							

事務事業調書(<u> </u>	(評価)							
事務事業名	子ども	会連合会育成				事業開	始年度 平	成17年度		
担当課	教育委	長員会 生涯学	智課		担当者	渡	邉典子			
■事業の執行計	画【計									
	政策	対策 03 文化薫る心豊かな人材の育成 2 2 2 2 2 2 2 2 2								
総合計画体系	施策	01	健やかに人を	で育み生涯	にわたる学習	活動の推進				
	基本事	3業 02	青少年の健全	≧育成						
+ 414 0 17 44			発な事業を展開す		市内の小中草	生とその保護	まおが「体験:	f		
事業の目的			参加する機会が提				~ 11 32 (1)			
			等に対し補助金に			まより社会教育	野孫団体等 権	甫助		
事業の概要	事業に		1,1-2,1 G 1111-23 III.1			20. 7 122 371		113-23		
■事業実施結果		(Do)								
		年度	5年度		6年	度	73	年度		
事業費の推移	実績	漬/当初予算	実績		実	績	当初			
		総事業費	359		35			0		
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)]							
	指標	+15.4	ー カ 15-	34 /T	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	指作	標名称	単位	実績	実績	計画	計画		
+に+無の+444	YT #1	イチロル			0.4	0.4	0.E	OΓ		
指標の推移	活動	活動日数		日	24	24	25	25		
	成果	会員数		人	2, 542	2, 311	2, 300	2, 300		
	,,,,,,					·	2, 000	2, 000		
	評価)多少は達		成できず				
達成度の			事業もおおむね実			充実が図られ	た。補助金交	:付により、同		
評価と説明	説明	引 □団体の育品	成及び青少年の健	全育成が図]られた。					
見直し余地	判定	〇数年内I	に見直し可能 (<u>)余地はあ</u>	<u>るがまだ時間</u>]が必要 ●糸	<u>除地なし</u>			
	7 1 \	Action)]								
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・						
資源方向性	予算	算額 〇拡大	、●現状 ○縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	\		

			(評価)								
事務事業名	ボーィ	(スカウト育)	找補助事業			事業開	開始年度 日	₽成17年度			
担当課	教育委	委員会 生涯学	智課		担当者	渡	邉典子				
■事業の執行計											
	政策	政策 03 文化薫る心豊かな人材の育成									
総合計画体系	施策	01	健やかに人を	を育み生涯	にわたる学習	活動の推進					
	基本導	3	青少年の健全	全育成							
事業の目的	青少年	の健全育成を	図る。								
事業の概要	より社	L会教育関係団	少年健全育成事業 体等補助事業に紀		動に対し、補助	协金による支援	髪を行う。R7	年度			
■事業実施結果	【実施	i (Do)									
		年度	5年度		6年	度	7	年度			
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実	績	当初				
		総事業費	9		,	9		0			
■前年度の事業	分析【	【評価 (Check)									
	指標	+6-	漂名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	187	宗石你	丰四	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	活動	活動日数		日	58	45	50	50			
	成果	会員数		人	46	37	40	40			
	評値	■ ●達成、	既ね達成した (○多少は達	成した 〇遺	成できず	•	·			
達成度の		可能な限り	りの行事・活動を9	実施した。	補助金を交付す	することで、同	司団体の育成	及び社会教育			
評価と説明	説明の振興が図られた。										
見直し余地	判员	〇数年内	こ見直し可能 (つ余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●弁	き地なし				
■将来方向性【	改善((Action)									
事業の方向性		」し継続 ●刊	現状どおり継続	〇廃止・	完了						
資源方向性			●現状 〇縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮/	·]\			

事務事業調書(評価)						
事務事業名	さくら	さくら警察署管内少年指導委員会補助事業 事業開始年度 平成17年度							
担当課	教育委	長員会 生涯学	智課		担当者	渡	邉典子		
■事業の執行計		工【計画(Plan)】							
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成				
総合計画体系	施策	01			にわたる学習	活動の推進			
	基本事	3業 02	青少年の健全	全育成					
事業の目的	さくら	警察署管内少	年指導委員会活動	かを活発化す	する。				
事業の概要	り社会	教育関係団体	健全育成を図る <i>た</i> 等補助事業に統合		こ対し、補助会	とによる支援を	E行う。R7年	■度よ	
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度		7年度	
事業費の推移	実紀	績/当初予算	実績		実		当初		
		総事業費	88		8	8		0	
■前年度の事業	<u>分析【</u>	評価 (Check)							
	指標	ti:	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	181	示 口 你	丰四	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	活動	活動日数		日	13	15	13	13	
	成果	会員数		人	15	15	15	15	
	評価	」 ●達成、	既ね達成した (○多少は達	成した 〇達	成できず	•	· ·	
達成度の		街頭補導や	5青少年健全育成	活動が行れ	れた。補助金	を交付するこ	とにより、	同団体の育成及	
評価と説明	街頭補導や青少年健全育成活動が行われた。補助金を交付することにより、同団体の育成及 説明 び青少年の健全育成が図られた。								
見直し余地	知定	○粉年内	こ見直し可能 (^순배/t #	るがまだ時間	が必要 ▲4	<u>・地なし</u>		
		Action)】	- 元旦しり化 (ン示心はの	1011.4111111111111111111111111111111111	」// 火心女 ● 7	マピタし		
事業の方向性				〇廃止・	⇒ マ				
<u>事業のが同性</u> 資源方向性		算額 〇拡大			元」 業務量	○拡大●	現状 〇縮	://\	
		チャラー しし ブルノハ	. 一 奶小 Omin'	•	1 木/カ里		すれい しゃ	1,	

事務事業調書(通常評	価事業 事後	(評価)						
事務事業名	リータ	「一スクラブ事	業			事業開	始年度 平	成17年度	
担当課	教育委	員会 生涯学	智課		担当者	生	方秀典		
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】							
	政策	03	文化薫る心豊						
総合計画体系	施策								
	基本事	第業 02	青少年の健全	è 育成					
事業の目的	高校生	及び中学生が	地域社会の一員と	しての自党	覚を高め、自己	己啓発や自己第	₹現などの課題	題の	
争未の日的			間性豊かな青少年						
事業の概要	子ども	会活動への支	援、市事業や各種	₤団体事業々	への参加・協力	り、小学生との)交流会の開作	崔、	
•			を行い、将来地域	はで活躍す.	る人材育成を図	図っている。			
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7:	年度	
事業費の推移	実紀	漬/当初予算	実績		実績		<u>\</u>	当初	
		総事業費	116		1:	26		173	
■前年度の事業		評価 (Check)							
	指標	ti: t	漂名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	381	未 11 1小	辛匹	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	登録者数		人	47	38	40	40	
コロコホマノコエイタ	从本	프까디外		^	77	00	40	70	
	活動	活動日数		l B	50	58	50	50	
	7,2,3						00	00	
	評価		既ね達成した (
達成度の			中心となって会議						
評価と説明	説明		ス活動を通して、						
			とめ、活動に参加					〉した。	
見直し余地	判定		こ見直し可能 (<u>) 余地はあ</u>	<u>るがまだ時間</u>	が必要 ● 分	<u> 地なし</u>		
	7, I	Action)]	- 15 13 1 11 15 15						
事業の方向性			現状どおり継続	〇廃止・			N TO 11 O 12 T		
<u> </u>	予算	算額 〇拡大	、●現状 ○縮小		業務量	○拡大●	現状 〇縮小	١	

事務事業調書(通常評	·価事業 事後	(評価)							
事務事業名	社会教	対育・家庭教育	予支援事業			事業開	始年度 平	成17年度		
担当課	教育委	長員会 生涯学	智課		担当者	高流	頼亮			
■事業の執行計	画【計	【計画 (Plan) 】								
	政策	策 03 文化薫る心豊かな人材の育成								
総合計画体系	施策	01	健やかに人を	と育み生涯	にわたる学習	活動の推進				
	基本事	3業 03	家庭教育支援	髪の充実						
事業の目的	子育て	に対する不安	がより解消され、	家庭でいる	きいきとしたう	子育てができる) 。			
事業の概要	て、各	種講座や教室	ために、家庭教育 を開催する。	「オピニオ)	ンリーダーや記	モ児ボランティ	′アなどと連携	長し		
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	7年	- 度		
事業費の推移	実績	績/当初予算	実績		実	績	当初			
		総事業費	524		36	67	8	77		
■前年度の事業		評価 (Check)								
	指標	培地	漂名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	181	未 11 1小	平位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	家庭教育講座・	講習の実施回数	回	15	17	15	15		
	成果	家庭教育講座の	参加者数	人	1, 099	1, 229	1, 100	1, 100		
	評価	ī ●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇達	成できず				
達成度の		親子応援調	構座を市内6小学校	交で、親子:	学び合い事業	(ネット時代の	り歩き方講習会	🐑 を市内7校		
評価と説明	説明	で、就学前	前の学習・生活体	験「おもし	,ろがっこう」	を2回、祖父母	母を対象とした	-講座を2回実		
			ど、計17回の講座							
見直し余地	判定	≧ ○数年内	に見直し可能 (D余地はあ	るがまだ時間]が必要 ●弁	≷地なし			
■将来方向性【	<u> </u>	Action)]								
事業の方向性			<u>限状どおり継続</u>	〇廃止・						
資源方向性	予算	算額 〇拡大	、●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小			

事務事業調書(通常評	価事業 事後	(評価)						
事務事業名		官理事業						成27年度	
担当課	教育委員会 生涯学習課 担当者 大金加依								
■事業の執行計	十画【計画(Plan)】								
	政策	03	文化薫る心豊						
総合計画体系	施策	01			にわたる学習	活動の推進			
	基本事		読書活動の推						
事業の目的			研究等の生涯学習	活動に活用	用される。				
サネックロリ			活発化される。						
事業の概要			管理者制度に移行				[貸借、レファ	レ	
	ンス業	<u>務、おはなし</u>	会や各種講座開催	[等の事業]	を市と協議の上	<u>:、実施する。</u>			
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年			度	
事業費の推移		責/当初予算		実績実					
		総事業費	104, 774		110, (051	116,	896	
■前年度の事業		評価 (Check)			= , -		= / -	6 / -	
	指標	指	漂名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分			7-12	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	年間貸出点数(料)	図書、雑誌、AV資	点	286, 812	275, 830	276, 000	276, 000	
	成果		WL	1	A 11A	4 507	4 000	4 000	
	八 未	年間講座参加者		人	4, 114	4, 597	4, 600	4, 600	
	評価)多少は達		成できず			
達成度の		講座参加者	皆数について、図	書館で開催	される事業が	市民に広く認	知されるよう	になり、参加	
評価と説明	説明		々増加傾向にある	。また、図	書館利用のき	っかけづくり	として図書館	ツアー等の新	
			テったことが参加						
見直し余地	判定		に見直し可能 (<u>)余地はあ</u>	<u>るがまだ時間</u>	が必要 ●弁	<u><地なし</u>		
		Action)]							
事業の方向性				<u> 〇廃止・</u>					
<u> </u>	予算	算額 ●拡大	:〇現状 〇縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小		

9 350 9 514 May 1 1	通常評		評価)							
事務事業名	課外	「さくらスクー	-ル」事業			事業開	始年度 平	成30年度		
担当課	教育委	員会 生涯学	智課		担当者	高流	頼亮			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】								
	政策									
総合計画体系	施策	01			にわたる学習	活動の推進				
	基本事	業 05	課外「さくら	スクール	」による学び	の推進				
±** 0 0 44	子ども	達の「気力・	体力・学力」を終				F設け、前向る	きに		
事業の目的			る子ども達を育成			• . •				
			<u> </u>		没し、学力ア、	ップコース(ハ	・・中学生) と	- 体		
事業の概要			により子ども達に				/ -	- ' '		
■事業実施結果			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			() 				
		年度	5年度		6年		75	 丰度		
事業費の推移	実績/当初予算 実績				実績		当初			
7 51456 14 712 15	i	総事業費	3, 448		3, 2			950		
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)			,		,			
	指標		= p 14	224 / L	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	指	漂名称	単位	実績	実績	計画	計画		
151年の1444		中等 中华	7¢L		F.C.O.	CO7	000	000		
指標の推移	活動	申込児童・生徒		\ \	560	607	600	600		
	評価	ī ●達成、	概ね達成した (○多少は達	成した 〇達	成できず	•	•		
達成度の			スにおいては地域				児童の学力ア	ップや学習意		
評価と説明	説明		を図ることができ							
	1,500		- ゾの機会を得るこ							
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●糸	会地なし			
■将来方向性【	改善(Action)								
事業の方向性		[し継続 ●明	現状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性			: ●現状 ○縮小		業務量	●拡大()現状 〇縮小	\		

事務事業調書(評価)								
事務事業名	社会教	文育委員事業					始年度 平	成17年度			
担当課	教育多	長員会 生涯学	智課		担当者	爺	木真代				
■事業の執行計		·画(Plan)】			·	·					
	政策	03	文化薫る心豊	畳かな人材	の育成						
総合計画体系	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動			活動の推進					
	基本		総合事業								
事業の目的			教育に関する施策				除教育指導員に	よ			
争未の日的		り、きめ細かい社会教育事業を行うことができるようになる。									
事業の概要	社会教育に関し諸計画を立案するため社会教育委員会議を開催する。社会教育指導員3名を										
		記置する。社会教育委員、社会教育指導員に報酬等を支給する。									
■事業実施結果	【実施	i (Do)									
		年度	5年度		6年度		7年度				
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実績		当初				
		総事業費	6, 931		9, 687		10, 021				
■前年度の事業		【評価 (Check)]								
	指標	指標名称		単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	JH	ж. <u>П. Ы.</u>	— — —	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	成果	社会教育委員会	議出席者数	人	24	24	30	30			
	成果	社会教育指導員 参加者数	による学級講座延べ	人	1, 597	1, 379	1, 400	1, 400			
	評値	」 ●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇達	成できず		•			
達成度の	社会教育委員会議において、生涯学習課(公民館、図書館、ミュージアム)とスポーツ振興										
評価と説明	説明	月 課の重点	事業等について助	言等をいた	だいた。社会	教育指導員3	名は、家庭教	育・青少年教			
		育・高齢者教育の3分野で各種講座等を担当し、社会教育の振興が図られた。									
見直し余地 判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし											
	711	(Action)]									
事業の方向性	〇見画		見状どおり継続	〇廃止・							
資源方向性	予:	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	●拡大()現状 〇縮小				

1 100 1 VIVINI 1	通常評価		(評価)							
事務事業名	氏家公民館運営事業					事業開	始年度 平	成21年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課				担当者	福	田崇男			
■事業の執行計										
	政策	03	文化薫る心豊	かな人材	<u>の育成</u>					
総合計画体系	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進							
10 41 41 41	基本事業	€ 99	総合事業							
事業の目的		施設の利便性を高め、多くの市民に生涯学習の場を提供する。								
事業の概要	開館時間:午前9時~午後9時30分 休館日:毎月第1、第3月曜日、第3日曜日、年末年始									
■事業実施結果	【実施(Do)								
	4	年度	5年度		6年度		7年度			
事業費の推移	実績/	当初予算	実績		実績		当初			
	総事業費 30,8				28, 583		29, 725			
■前年度の事業	分析【評	価 (Check)								
	指標	票			5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	1日1	宗石你	単位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	公	民館年間のべ	利用者数	人	40, 449	48, 789	49, 000	49, 200		
	施件		の不具合・トラブル	件	0	0	0	0		
	評価	〇達成、	概ね達成した	●多少は達	成した 〇達	成できず				
達成度の	利用者数は回復傾向にあるが、コロナ禍前の水準(6万5千人前後)には未だ達していない。									
評価と説明	説明	施設管理面	面は、老朽化等に	よる軽微な	:不具合はある	が、施設利用	を制限するよ	うな不具合は		
	発生していない。									
見直し余地	判定 ○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし									
■将来方向性【	改善(Ac	tion)]								
事業の方向性 資源方向性	〇見直 L 予算額		見状どおり継続 : ●現状 〇縮小	〇廃止・	完了 業務量					

1 100 1 11 NO. 1 1			:評価)						
事務事業名	喜連川公民館運営事業				事業開始年度 平成17年度				
担当課	教育委員会 生涯学習課				担当者	渡	 		
■事業の執行計									
	政策 203 文化薫る心豊かな人材の育成								
総合計画体系	施策	01		と 育み生涯	にわたる学習	活動の推進			
	基本事		総合事業						
事業の目的	利用者	の生涯学習意	欲の高揚を図る。						
事業の概要	開館時間:9:00~21:30 休館日:第2·第4月曜日、第3日曜日、年末年始 体制:職員1名・ シルバー人材センター委託								
■事業実施結果	【実施	(Do)	240						
		年度	5年度		6年度		7年度		
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績	実績		実績		当初	
	総事業費 12,				19, 019		16, 469		
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)							
	指標			単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	1 81	示句你	丰位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	利用者数		人	22, 471	25, 625	26, 000	26, 000	
	評価	i ┃●達成、ホ	既ね達成した ()多少は達	成した 〇達	成できず			
達成度の	利用者数は少しずつ回復傾向にあり利用者が安心安全に利用できるよう施設の維持管理に努								
評価と説明	説明 めた。								
	mov3								
見直し余地	判定	· O数年内I	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●弁	≷地なし		
■将来方向性【	改善(Action) 】							
事業の方向性	〇見直	[し継続 ●明	!状どおり継続	〇廃止・					
資源方向性	予算	算額 ○拡大			業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	_	

事務事業調書(通常評価	西事業 事後	評価)							
事務事業名	┃ゆめ!さくら博開催事業					事業開	始年度 平	成19年度		
担当課	教育委	員会 生涯学	智課		担当者	- 鈴:	木真代			
■事業の執行計										
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成					
総合計画体系	施策	01		を育み生涯	にわたる学習	活動の推進				
	基本事		総合事業							
事業の目的			果を発表する場・				ιる場・体験で	き		
争未の日的	る場、市民同士のネットワークづくりの場として生涯学習の振興を図る。									
事業の概要	市民と行政の協働により実行委員会を組織し、10月(土・日)に公民館や体育館を主な会場									
		開催する。								
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年度		7年度			
事業費の推移	実績	[/当初予算	実績		実績		当初			
		総事業費 2,157			3, 552		3, 898			
■前年度の事業		平価 (Check)								
	指標	培士	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	181	未 但 你		実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	来場者数		人	2, 849	5, 332	5, 500	5, 500		
10 100 10 10 19	75051				2, 010	0,002	0, 000	0,000		
	成果	出店者数		店(団	87	86	90	90		
	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		n u 1 3 + 1 1 1 1 1	体)			• •	00		
評価 ●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず										
達成度の	学びの成果を発表し還元する場を提供することができた。多くの中高校生ボランティアの参									
評価と説明	説明	加や出店も	あり、異世代交	流の機会に	もなった。ま	た、福祉まつ	りとの合同開	催により、共		
	.1		関に向けたイベ					た。		
<u>見直し余地</u>	判定		こ見直し可能	●余地はあ	<u>るがまた時間</u>	<u> が必要 〇新</u>	<u>≷地なし</u>			
■将来方向性【	改善(A	ction)]								
			1 1 1 1 2 1	<u> </u>						
■ 将木が向性 事業の方向性 資源方向性	●見直 予算		見状どおり継続 : ●現状 〇縮小	〇廃止・	完了 業務量	○拡大●	現状 〇縮小			